

令和6年度当初予算要求のポイント

教育委員会

1 一人ひとりが主体的に学び他者と協働する学校をつくる

○ 一人ひとりに合った学びの推進

認知や発達の特性に応じた個別最適な学び、GIGAスクール構想によるICTを活用した学びの深化、探究学習のさらなる充実、新たな学びの場としてのメタバース活用の検討などにより、個々の発達特性や興味関心等に応じた、一人ひとりに合った学びを選択できる環境整備の検討を進め、これからの時代に必要とされる新たな学びを実践するとともに、探究の学びを実践する教員養成研修プログラムの開発、校長等のマネジメント力向上や学びの改革を担う教員の育成により、探究を中核とした学びの改革を進展

○ 教員のウェルビーイング向上

専門的知見を取り入れた学校現場の業務改善、ICTを活用した県立高校入試業務の効率化、教員業務支援員や副校長・教頭マネジメント支援員を配置し、管理職員を含めた教員の負担を軽減することにより、教員が真に必要な業務に注力できる環境を整備し、教員のウェルビーイングを向上するとともに、教員の魅力を発信し、教員、講師を確保

○ 高校再編・整備

「高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画」で決定した統合新校の目指す学校像や教育方針の検討、探究的な学びのための学習空間デザインを取り入れた施設整備基本計画の策定など、地域と協働し新たな高校づくりを推進

2 一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる

○ 新たな多様な学びの場の創造

夜間中学・学びの多様化学校など、新たな多様な学びの場について、引き続き市町村や有識者を交えた検討を行い、設置に向けた準備を推進

○ 特別支援学校改革の推進

一人ひとりの可能性を最大限伸ばすとともに、インクルーシブな社会をリードする学校を実現するため、図書館機能を充実するとともに、教育的ニーズに応じた学びのためICT・ATの効果的な活用と特性やニーズに応じた支援により、特別支援学校改革を推進

○ 困難や悩みを抱える児童生徒への支援

いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題に対し、未然防止や早期発見・早期対応に必要な支援及び、多様な学び支援コーディネーターの配置等により、不登校児童生徒への市町村と連携した支援体制を強化、整備

3 生涯にわたり誰もが学び合える地域の拠点をつくる

○ 学校と社会をつなぐ連携コーディネーターの配置

多様な他者と共に学び、共に学校や地域を創っていく、「共学共創」を通じて「新しい社会を創造する力」を育成するため、学校と地域をつなぐ連携コーディネーターを配置

4 文化芸術・スポーツの身近な環境を整え、共感と交流が生まれる機会をつくる

○ 地域スポーツ・文化クラブ活動体制の整備支援

地域における中学生の多様なスポーツ・文化活動の機会を確保するため、市町村における体制整備の検討と指導者の確保等を支援

○ 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会（信州やまなみ国スポ・全障スポ）に向けた競技力向上・開催準備

第82回国民スポーツ大会における天皇杯・皇后杯獲得と大会終了後の競技力の維持・定着を目指し、競技団体への支援や成年選手の強化指定、優れた競技力を有する者の確保を行うとともに、大会の開催準備を着実に進め、競技役員等の養成や競技運営に係る市町村競技会場の施設整備への支援を実施